

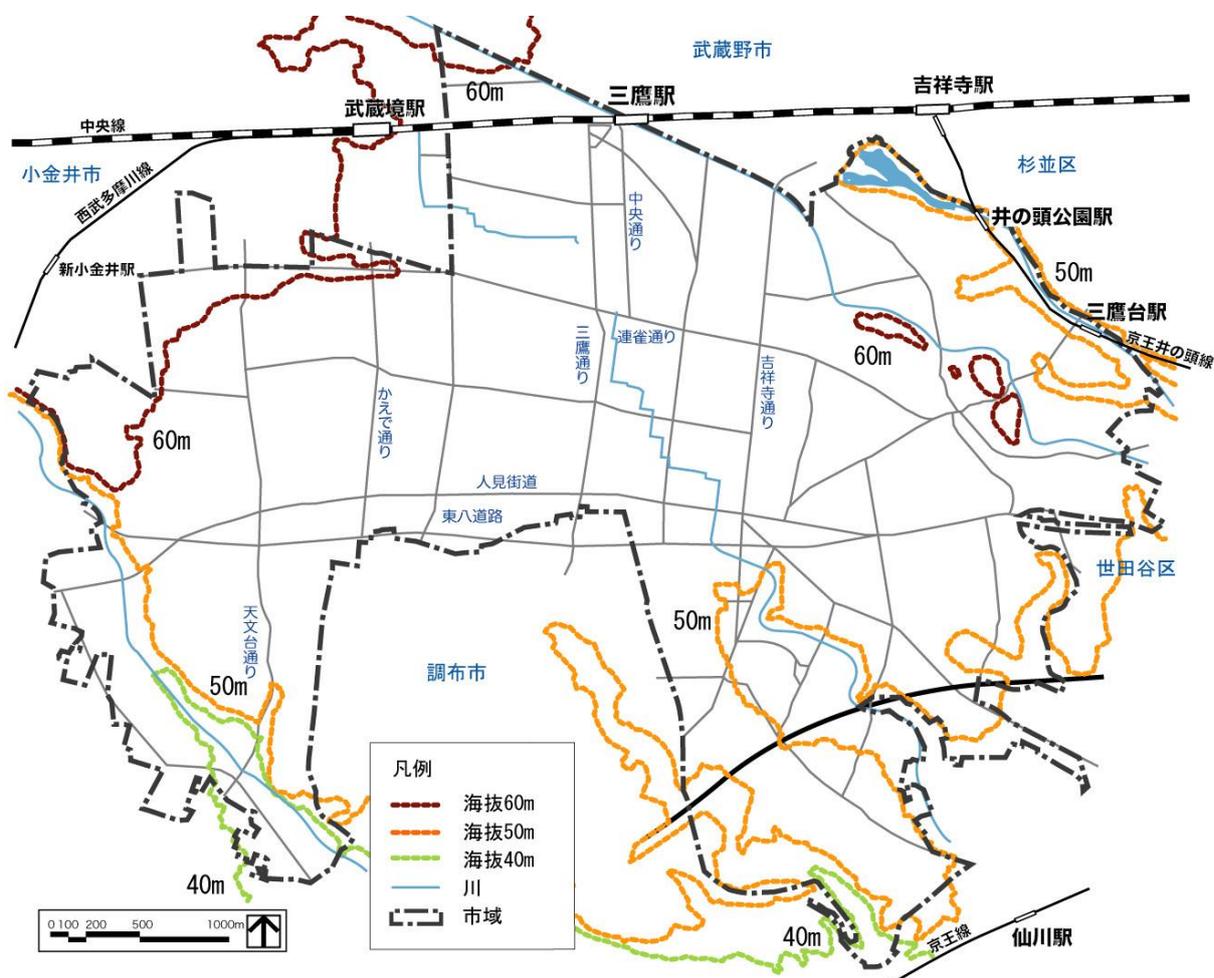
## 2. 市の現状

### 2-1. 地形・地勢

市は、都心丸の内から西へ約18km、東京都のほぼ中央に位置し、東は杉並区、世田谷区の2区に、西は小金井市、南は調布市、北は武蔵野市にそれぞれ接しています。

また、市は面積16.42km<sup>2</sup>で、東京の西郊に広がる武蔵野台地の中央部南端にあり、西南端の一部に、国分寺崖線を形成している野川の流れる低い地盤面と、市域のほとんどを占める一段高い地盤面、そして牟礼の一部は、さらに高い地盤面となっています。

○等高線と河川の図



## 2-2. 人口など

### 1) 人口

市の人口は、平成31年1月1日現在で、187,199人となっています。そのうち0-14歳までが23,634人（約12%）、15-64歳が122,826人（約66%）、65歳以上が40,739人（約22%）となっています。

将来人口予測では、平成27年度に18万人を超えた人口は、それ以降は微増傾向になるとされています。また、65歳以上の人口の割合は、増加する傾向です。

町別に人口を比較すると、下連雀が最も多く44,102人（約24%）、次いで、上連雀25,687人（約14%）となっており、子ども、高齢者も概ね同様の傾向です。

表 町別・年齢別の人口 (人)

	下連雀	牟礼	井の頭	中原	北野	新川
0-14歳	5,615	3,293	1,513	1,882	1,028	1,900
15-64歳	29,353	14,846	10,780	8,896	5,090	10,691
65歳-	9,134	4,382	3,773	3,756	1,383	3,577
総人口	44,102	22,521	16,066	14,534	7,501	16,168
	上連雀	井口	深大寺	野崎	大沢	合計
0-14歳	2,948	1,793	923	924	1,815	23,634
15-64歳	16,877	8,366	5,143	4,398	8,386	122,826
65歳-	5,862	2,489	1,873	1,328	3,182	40,739
総人口	25,687	12,648	7,939	6,650	13,383	187,199

出典：平成31年1月1日現在の人口・世帯数（市民課）より

表 年齢構造別将来人口予測 (人)

	0~14歳	15~64歳	65歳以上	合計
令和元年度	23,634	122,826	40,739	187,199
令和6年度	24,033	125,047	42,270	191,350
令和11年度	22,910	124,398	45,074	192,381
令和16年度	22,034	121,796	49,246	193,076
令和21年度	22,140	116,739	54,403	193,283
令和26年度	22,559	112,405	57,905	192,869

出典：三鷹市将来人口推計（平成31年3月）より

## 2) 障がい者

市内には、平成31年4月1日現在で、7,356人の障がい者がいます。内訳は、身体障がい者が4,316人、知的障がい者が1,128人、精神障がい者が1,912人です。平成26年からの推移をみると、各障がい者共に微増しています。

身体障がい者の障がいの内訳をみると肢体不自由が1,979人(45.9%)と最も多く、次いで、内部障がい(参考資料P.21)、聴覚障がい、視覚障がい、言語障がいの順となっています。

○市内の障がい者数(各年度4月1日現在)

表 障がいの内訳(内訳には難病等の対象者は含まない。) (人)

	身体	知的	精神	合計
平成27年度	4,253	980	1,400	6,633
平成28年度	4,280	1,016	1,489	6,785
平成29年度	4,293	1,048	1,636	6,977
平成30年度	4,301	1,087	1,679	7,067
令和元年度	4,316	1,128	1,912	7,356

出典：福祉業務統計年報より

表 身体障がい者の内訳(内訳には難病等の対象者は含まない。) (人)

	視覚	聴覚	言語	肢体	内部	合計
平成30年度	273 (6.3%)	387 (9.0%)	53 (1.2%)	1,979 (45.9%)	1,624 (37.6%)	4,316 (100.0%)

出典：福祉業務統計年報より

## 3) 高齢者

市内には、平成31年4月1日現在で、三鷹市の総人口が187,571人、高齢者人口(65歳以上)は40,828人、高齢化率は21.8%となっています。全国(26.0%\*)、東京都(22.7%\*)の高齢化率と比較すると下回ってはいますが、高齢者人口、高齢化率ともに増加傾向にあります。

表 高齢化率(各年度4月1日現在) (%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
高齢化率	21.1	21.4	21.5	21.6	21.8

出典：福祉業務統計年報より

#### 4) 合計特殊出生率及び就学前児童人口

全国的に少子化傾向が見られる中で、市の合計特殊出生率は平成29年が1.22と、平成25年の1.15から増加しています。

また、市の就学前児童人口は、平成31年4月1日現在で、9,546人と、平成27年度から151人増えており、年々、増加する傾向です。市は区部に隣接し、都心への通勤が便利な緑溢れる住宅都市として人気の高いまちであることに加えて、これまで、低年齢児童保育や延長保育の充実に取り組んできたことにより、子育て世帯の流入が多いことなどが要因であると考えられます。

表 三鷹市の合計特殊出生率

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
合計特殊出生率	1.15	1.16	1.23	1.24	1.22

※合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとした時の子ども数に相当します。

出典：人口動態統計年報（平成29年）／東京都より

表 三鷹市の就学前児童人口

(人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
就学前児童人口	9,395	9,534	9,635	9,514	9,546

※就学前児童人口とは、年齢別人口の0歳から5歳までを合計した数

出典：福祉業務統計年報より

## 2-3. 交通・道路

### 1) 鉄道

市内には、JR中央線の三鷹駅、京王井の頭線の三鷹台駅、井の頭公園駅の3つの駅があります。三鷹駅は、1日あたり約19万人の乗降客があります。三鷹台駅は、約2万3,000人、井の頭公園駅は約7,000人の乗降客があります。

表 各駅の1日あたりの乗降客数の推移 (人)

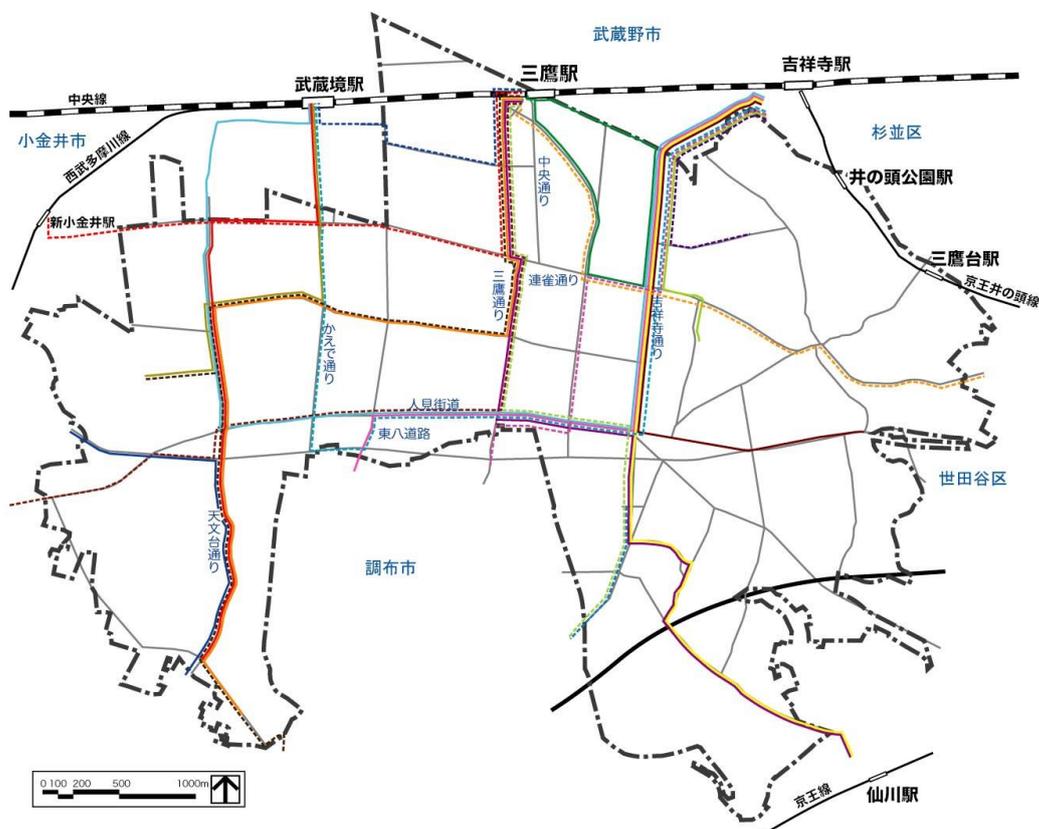
	東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本)			京王電鉄株式会社					
	三鷹駅			三鷹台駅			井の頭公園駅		
	乗車	降車	計	乗車	降車	計	乗車	降車	計
平成26年	92,836	92,836	185,672	11,453	11,144	22,597	3,291	3,296	6,587
平成27年	94,805	94,805	189,610	11,527	11,233	22,760	3,412	3,394	6,806
平成28年	95,968	95,968	191,936	11,607	11,301	22,908	3,445	3,428	6,873
平成29年	97,413	97,413	194,826	11,682	11,380	23,062	3,518	3,524	7,042
平成30年	98,707	98,707	197,414	11,529	11,209	22,738	3,479	3,442	6,921

出典：三鷹市統計データ2019（令和元年10月）より

### 2) バス路線

三鷹駅、吉祥寺駅を発着するバスを中心に市内に多くの路線があり、三鷹通り、吉祥寺通り、人見街道、市役所周辺に複数のバス路線が集中しています。

○主要バス路線及び鉄道路線図



※運行本数 32 回/日のものを表示

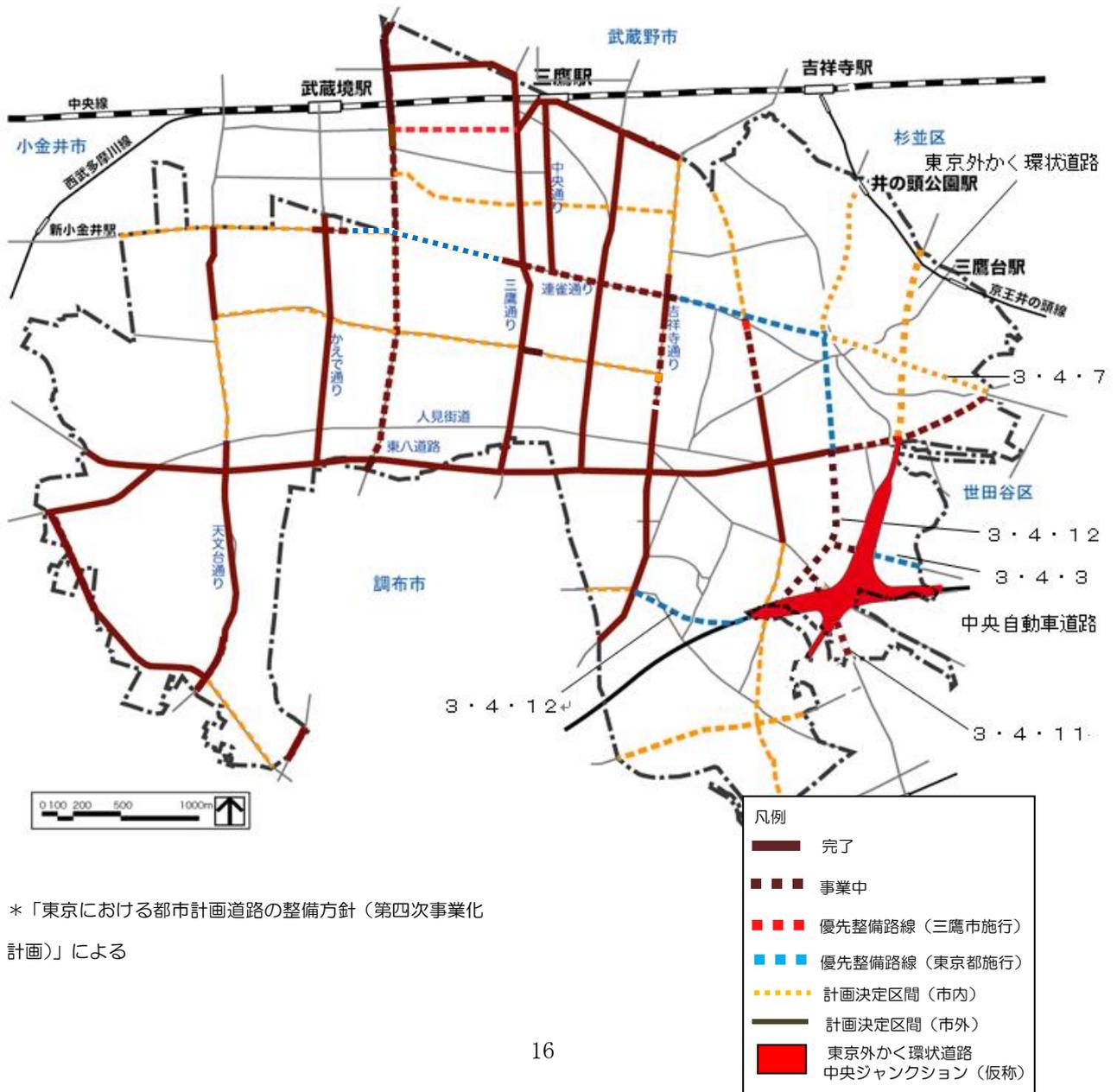
### 3) 道路

市内の都市計画道路の整備を進めていますが、整備率は約 46.4%（平成 31 年 3 月 31 日現在）で、三鷹駅周辺の東西方向や井の頭公園駅、三鷹台駅周辺などの都市計画道路は未完成です。

都市計画道路として整備が完了していない幹線道路の幅員をみると、市域の中央部を東西に横断する連雀通りの幅員が 12m 未満などで、歩行空間として課題があります。

なお、歩道の設置状況をみると、井の頭公園駅周辺で未達成です。また、一定程度広い幅員の道路には、両側歩道が設置されていますが、部分的に片側歩道の道路もあります。

○都市計画道路の整備状況図



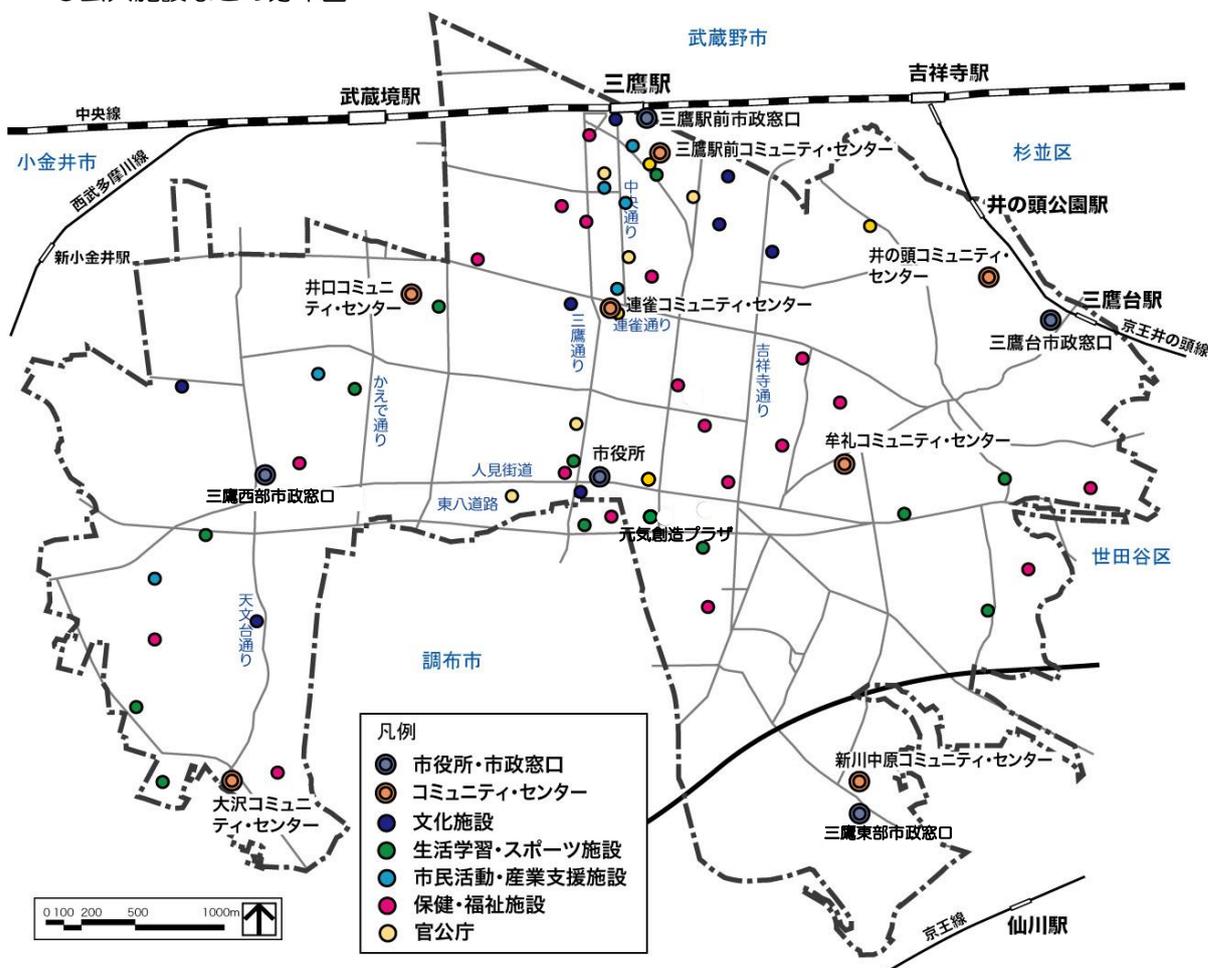
\*「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」による

## 2-4. 施設など

### 1) 公共施設など

駅周辺及び市役所周辺に公共施設などが集まっています。その他コミュニティ・センターなどは、市内全域に分布しており、高齢者福祉関連施設も同様の傾向を示しています。

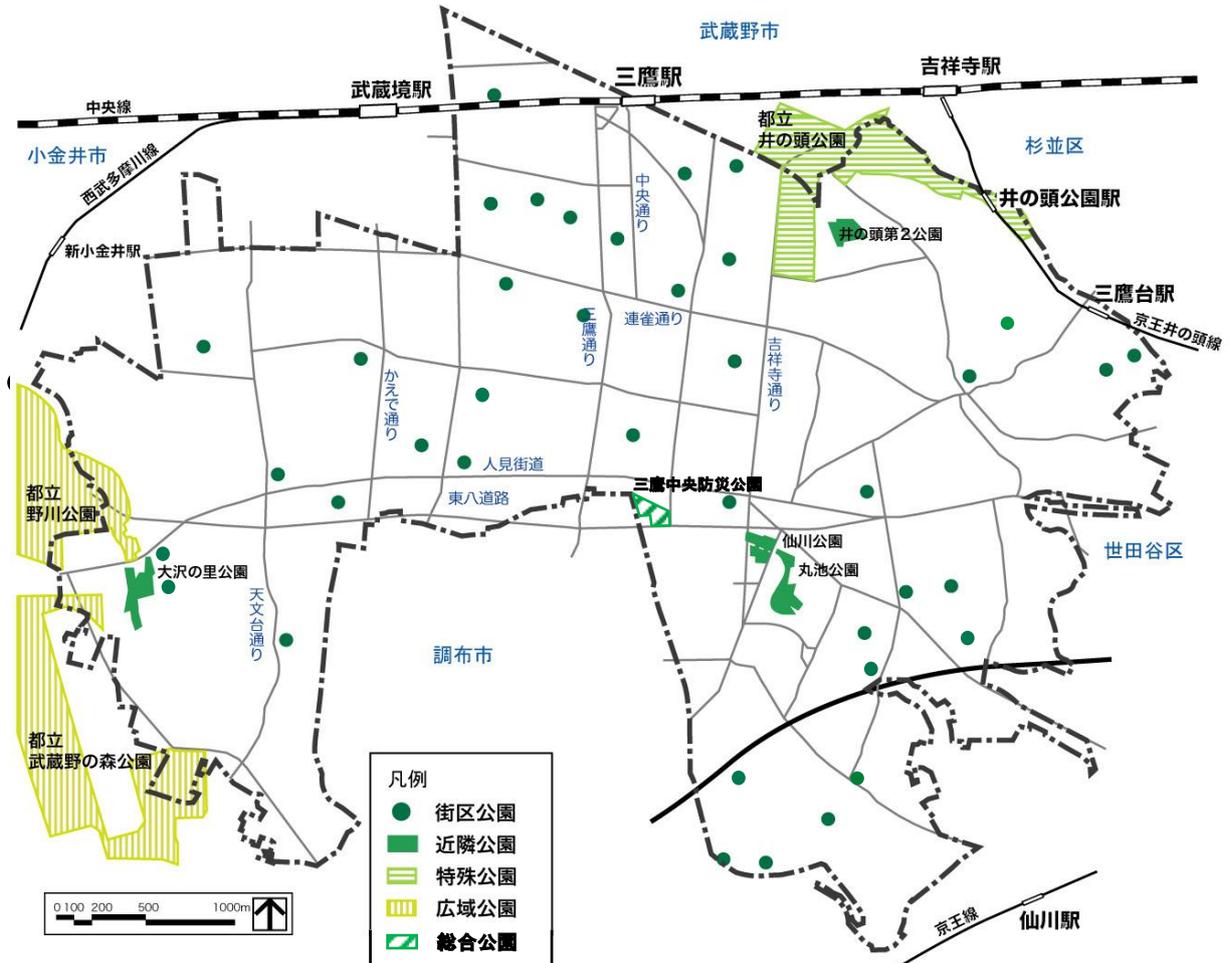
○公共施設などの分布図



## 2) 公園

井の頭公園（井の頭恩賜公園）、野川公園、武蔵野の森公園の3つの都立公園と河川沿いなどの近隣公園があり、身近な地域では、街区公園が点在しています。

○都市計画公園・緑地の分布図



## 2-5. 市民意見

### 1) 団体アンケート結果の概要

市内の高齢者、障がい者、子育て中の市民など、福祉関連団体 11 団体の協力を得て、基本構想の策定に向けたアンケート調査を実施しました。回答者は 203 名で、性別は約 44%が男性、約 56%が女性、年齢は30歳代が最も多く約 33%を占めていました。また、回答者のうち、半数が障害者手帳などを所持していました。

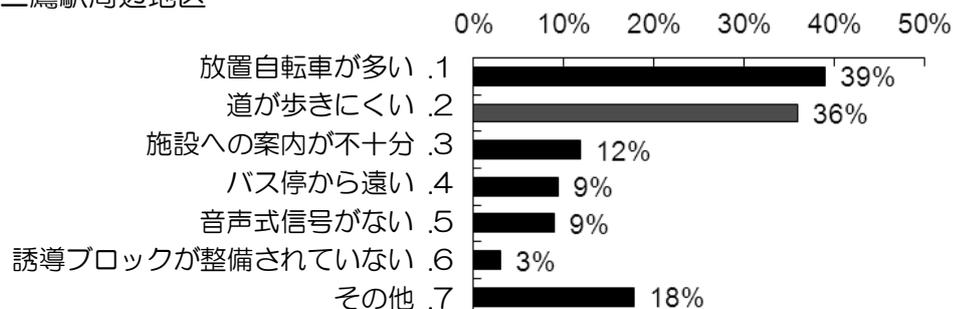
配布期間	平成 23 年 8 月 11 日～8 月 31 日
配布先	市内の障がい者、高齢者、子育て中の市民などの 11 団体
配布数	302 枚
回収数(回収率)	203 枚 (回収率 67.2%)
配布方法	各団体へ配布及び団体毎に回収 ( 視覚障がい者に対しては、聴き取り調査を実施 )

「三鷹駅周辺地区」及び「三鷹台駅・井の頭公園駅周辺地区」に外出する場合、バリアを感じるのとはどのような点か聞いたところ、「三鷹駅周辺地区」、「三鷹台駅・井の頭公園駅周辺地区」ともに道が歩きにくいことが挙げられました。

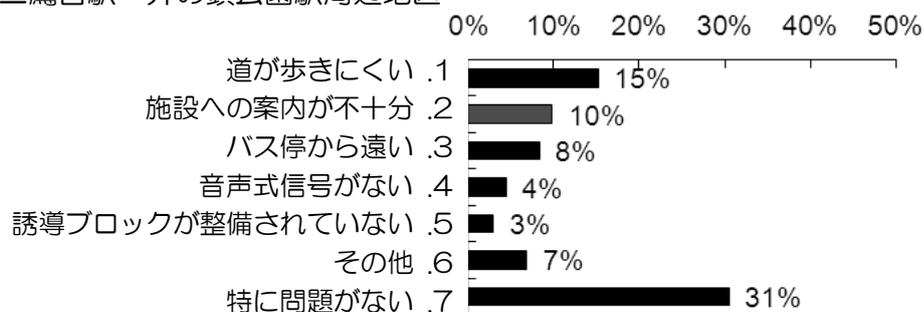
なお、自由意見では、歩道の拡幅、自転車と歩行者の分離、電柱の移設や地中化など歩行環境の改善や、自転車のマナー（乗車時のスピード、駐輪問題など）、高齢者や障がい者へのまちなかでの配慮を求める意見もありました。

#### ● 外出する場合にバリアを感じる点

##### ○ 三鷹駅周辺地区



##### ○ 三鷹台駅・井の頭公園駅周辺地区



高齢者、身体障がい者など、すべての人が出かけやすい“まち”になるために必要な施策を聞いたところ、「歩道の幅を広げたり、車道との段差を小さくする」との回答が最も多くありました。次いで、「駅や公園などにだれでもトイレ（福祉対応トイレ）の整備を行う」でした。その他、歩道上の看板や違法駐輪などの撤去や取り締まり、駅のエレベーターやエスカレーター整備を求める回答も多くありました。

必要な施策（上位 10 位）

	取り組む内容	計
1	・ 歩道の幅を広げたり、車道との段差を小さくする	107
2	・ 駅や公園などに「だれでもトイレ（福祉対応トイレ）」の整備を行う	70
3	・ 公共施設や駅周辺に駐車場や駐輪場を整備し、快適な歩行空間の確保を行う	63
4	・ 歩道上の看板や違法駐輪などの障害物を撤去したり、取り締まりを強化する	55
5	・ 駅にエレベーターやエスカレーターを整備する	54
6	・ 公共施設内のバリアフリー化（段差の解消、エレベーターの設置、だれでもトイレの設置、誘導ブロックの整備など）を図る	48
7	・ スーパーや銀行などの商業、業務施設内のバリアフリー化（段差の解消、エレベーターの設置、だれでもトイレの設置、誘導ブロックの整備など）を図る	45
8	・ ベンチなどの休息できる場所を増やす	44
9	・ 乗り降りしやすいバスを導入・運行する	42
10	・ 駅や施設などにおける人によるサービスを充実する	34

## 2) まち歩き・ワークショップ報告書（平成 23 年 3 月）におけるバリアフリー関連意見

平成 22 年度に、総合計画である基本計画や他の個別計画策定のために、7つのコミュニティ住区で、まち歩きとワークショップを実施しており、バリアフリーに係る意見として、以下のようなものがありました。

【市全体に対する共通のまちづくりのアイデアより】

- 自然やまちの風景を皆で守り、魅力的な資源を中心に回遊性のある”まち”をつくる。  
(国分寺崖線、野川、神田川、仙川等の沿道に歩きやすい散歩道をつくる、案内サインの充実、ルートマップ)
- 自然や史跡を活かした歩きやすい散歩道のネットワークづくり  
(歩道の沿道緑化などにより気持ちの良い散歩道づくり)
- 安全に安心して歩け、災害時の安全な避難路の確保のため、幹線道路・生活道路の改善を進める。  
(歩行者や自転車の通行の安全性の確保、民有地のポケットパーク整備・ベンチ設置、幹線道路の整備、住宅地の生活道路の改善、歩道の拡幅、樹木のはみ出し防止、カラー舗装)
- 地域のコミュニティの核である商店街において、居場所づくり、まち並みづくり、回遊性の確保を進める。  
(三鷹台駅前の緑とにぎわいづくり、井の頭公園駅前の桜並木や資源のPRによる魅力アップ、看板の統一)
- 子どもからお年寄りまでが安心して公園や広場を利用できるようにする。(地域による公園管理による利用の推進、公園の個性を活かす)
- 大規模な土地利用転換やマンション建設の機会に、防災へ配慮しながら、緑や水の空間を確保するよう誘導する。
- 外かく環状道路の蓋掛け部分の有効利用などにより生活や緊急の動線がつながるようにする。
- 協働のまちづくりの仕組み・体制を構築する。

## 3) 「三鷹を考える論点データ集 2018」を活用した市民意見収集結果

基本計画の第 2 次改定の検討を行うにあたり、平成 30 年 12 月に発行した「三鷹を考える論点データ集 2018」を活用して市民意見を収集しており、バリアフリーに係る意見として、以下のようなものがありました。

- 歩道と車道の段差や電柱を無くしてほしい。

- 歩道と車道を段差で区別するのではなく、色で区別できないか。
- 歩道が狭く傾斜もあり、電柱もあるため歩きづらい。歩行者の安全を最優先してほしい。
- コミュニティバスは、高齢者でも乗り降りがしやすいようにステップを工夫してほしい。
- 歩道が狭いのでベビーカーが通りづらく危険。
- 小中学校のトイレの洋式化を進めてほしい。
- 障がい者側が、差別されているという被害者意識を持たないように工夫してほしい。
- 障がい者個人の価値観やアイデアを地域に届けられるような、双方をつなぐコーディネーターの育成が必要。
- 小さい子供の頃から、障がいを持った人と出会える機会を持つような仕掛けをつくる。
- 障がい者の地域移行の実践をまちぐるみで後押しする仕組みづくりが必要。
- 障がいや高齢の垣根を越えて、行政部門や担っている団体の間でも交流を進める機会をつくる。
- 差別を感じた経験を、具体的にどのようなときに感じたかを、理由を紐解くことで差別解消につながるかもしれない。